

	組合員保険料・負担金		掛 金		負 担 金					備 考							
	厚生年金保険	退職等年金	短期	介護	厚生年金保険	退職等年金	経過の長期	短期	介護								
《標準報酬月額・標準期末手当等》	一般組合員	183.0 <small>(内、組合員保険料率 91.5)</small>	7.5	43.51 <small>(42.1 +1.41)</small>	8.90	—	7.5	0.1001 <small>育児休業等期間中 0.1001</small>	43.61 <small>(42.1 +1.41+ 0.1)</small> <small>育児休業等期間中 0.1</small>	8.90	【経長】 ◎公務等による給付に要する事業主負担 0.1001 【厚年】 ◎基礎年金拠出金に係る公的負担 40.0 【短期】(保険診療等の給付に要する財源) ◎育児・介護休業手当金に要する公的負担 0.1 ※組合役職員・地方独立行政法人職員はなし ◎福祉事業(保健事業等に要する財源) 1.41 【最低限度額】 標準報酬月額 長期・短期 98,000円 ※厚生年金保険を除く 厚生年金保険 88,000円 【最高限度額】 標準報酬月額 長期 650,000円 短期 1,390,000円 標準期末手当等 長期 1,500,000円 短期 5,730,000円 ※長期には厚生年金保険・退職等年金・経過的長期を含む ※標準期末手当等の短期については、年度累計額の上限						
	船員組合員			41.47 <small>(40.06 +1.41)</small>					40.0 <small>育児休業等期間中 40.0</small>			45.65 <small>(44.14 +1.41+ 0.1)</small> <small>育児休業等期間中 0.1</small>					
	特別職組合員											43.61 <small>(42.1 +1.41+ 0.1)</small>					
	組合役員																
	組合職員																
	地方独立行政法人 役員組合員																43.51 <small>(42.1 +1.41)</small> <small>育児休業等期間中 0.1001</small>
	一般組合員																43.51 <small>(42.1 +1.41)</small> <small>(都)0.1</small> <small>育児休業等期間中 (都)0.1</small>
	派遣職員													(都)40.0			43.51 <small>(42.1 +1.41)</small> <small>(都)0.1</small>
職員団体専従								43.51 <small>(42.1 +1.41)</small> <small>(都)0.1</small>	【経長】・・・経過的長期 【厚年】・・・厚生年金保険								
任意継続組合員			84.2	17.8						平均標準報酬月額 410,000円							

3公立東京福第2号

◎追加費用負担金率(対標準報酬月額)・・・義務(厚生年金分)29.3/1,000(経過的長期給付分)2.2/1,000、非義務(厚生年金分)16.3/1,000(経過的長期給付分)1.9/1,000
 ◎育児休業等期間中には、産前産後休暇も含む
 ◎育児休業等期間中における免除対象・・・保険料(掛金)、負担金(保険料(掛金)と同率)(育児休業等期間中における免除期間は最長で、当該育児休業に係る子が3歳に達する日の翌日の属する月の前月まで)
 ◎介護保険の第2号被保険者・・・40才以上65才未満の組合員
 ◎事務費負担金(区立幼稚園教職員、地方独立行政法人教職員)・・・年額 6,340円 月単位 528.33円
 ◎子ども・子育て拠出金(対標準報酬月額・対標準期末手当等)・・・3.6/1,000 ※組合役職員・地方行政独立法人職員・派遣職員・職員団体専従のみ(育児休業による掛金免除期間中は免除)
 ◎70歳以上の組合員・・・厚生年金保険組合員保険料・負担金(基礎年金拠出金に係る公的負担含む)、子ども・子育て拠出金は納付不要
 ◎後期高齢者医療制度の被保険者とされる組合員の短期掛金・負担金・・・(対標準報酬月額・対標準期末手当等) 3.53/1,000